

平成29年度 大成館中学校区 第1回歌声交流会



パートに分かれて中学生が小学生をリードし、最後の合唱では息を合わせて、全員が楽しく歌うことができました！



♣ 10月13日(金)に大成館中学校区の4つの小学校と大中との第1回歌声交流会が行われました。

大中学生が3つのグループに分かれて今津小学校(東村小学校合同)、神村小学校、本郷小学校を訪問して歌声を通して交流しました。

中学生が小学生をリードし、歌声が体育館等に響き渡り、充実した交流会になりました。



1年生 福祉体験学習 10月9日(木)

♥実際に車いすに乗ってみて分かったことは二つあります。一つ目は、乗っている人はいつも不安な気持ちだということです。押す人はスピードを考えないと、乗っている人は「落ちないかな」「ぶつからないかな」と思っています。でも、押す人が乗っている人に声をかけながらゆっくり押すと乗っている人も安心するということが分かりました。

二つ目は、自分で車いすを動かすことは大変ということです。誰も押してくれる人がいない時は、自分で動かさないといけません。でも、自分でやると、腕が疲れるし、なかなか真っ直ぐに進めないで、周りの助けが必要ということが分かりました。だから、これからの生活で困っている人がいたら助けたいと思います。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



♥私はこの福祉体験で、優しく接する気持ちが大切だと学びました。利用者の方々は、困難なことを少しでも手伝ってもらえるだけで、すごく助かると分かりました。そして、優しく話しかけてもらおうと、誰でもうれしいと思います。だから、私はこれから優しく接する気持ちを大切にして、誰にでも優しく思いやりをもって、相手の立場になって考えて接します。



作品紹介

ここは東北の山奥の村。勇太は母の故郷であるこの村に転校してくる。そこに待ち構えていたのは、村の子どもたちによるいじめであった。おまけに名前を「ユタ」と呼ばれる始末。ところが、村の老人から座敷わらしの伝説を耳にする。ある満月の晩、大黒柱のある旧家の座敷でついに遭遇したユタと5人のわらしたち。生きるって何だろう、素晴らしい友達とは何だろう…。ということに気づくことができるミュージカルになっています。



♥モザイクアートが完成したときは、とっても嬉しかったです。どの学年のモザイクアートより大きくて立派に見えました。美術や広報は裏方の裏方なのですが、一つの作品を作るためには、かかせない一つのパーツのように思います。小さなことの積み重ねが大きな物になり、より達成感を味わうことを学びました。



♥協力して、すべてのものを完成させて、最高の舞台を作り上げることができて、協力とはみんなが一つになれて、心が繋がることを学びました。



♥ミュージカルがこんなに道具も揃ってできるのは、大成館ぐらいだと思いますし、自分たちで考えて演じられるので、本当に大成館に来て良かったと思いました。だからこそ、この伝統は本当に守っていききたいし、これからも高めていきたいので、来年も頑張りたいです。



♥当日の発表は、セリフは完璧で、歌も音楽と合っていて良かったです。手でアクションをつけたりできたのも良かったですし、人前でも堂々と演技できたのは一番良かったと思います。



♥文化祭で大変だったことは、「一つになること」です。一人の気持ちが違えば、表現が変わります。一人が欠けると、みんなぐちゃぐちゃになる。でも、たくさん練習することによって、仲間との絆が深まり成長し、一つになれることがたくさんありました。それを通して、キャストの大変さや良さを知ることができました。



【2年3組 田口莉奈】